

体験！模擬授業

栄養学科

「国際保健学入門：栄養問題の二重負担」

教授 塚原 高広

世界には開発途上国とよばれる貧しい国々がありますが、経済発展とともに人びとのライフスタイルが変わってきました。そのため、飢餓と栄養不良が深刻である一方、肥満の人も増えており、この現象を栄養問題の二重負担といいます。この問題は解決できるのでしょうか。具体例事例を検討しながら、一緒に考えていきましょう。

看護学科

午前の部①「心を病む人の生活を支える看護」

教授 結城 佳子

精神看護学では、うつ病や統合失調症など心の病を経験された方への看護をはじめ、広く精神健康に関するケアを学びます。今回の講義では、心とは何か、心を病むとはどのようなことか、心病む人の生活を支える看護とはどのようなものか、実際の事例を通して皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

午後の部①「看護技術論の模擬授業」

教授 畑瀬 智恵美

1年生の初めに学ぶ看護の土台のところである「看護技術論」という科目の中で、看護とは、そして看護技術について、模擬授業をします。看護技術は注射の他に日常生活の援助もあります。何を大切にしようとするか、看護師としてどのような能力が求められるか、そして、どのように学習していくとよいかなどを、ナイチンゲールやヘンダーソンの看護理論家の考えなどを交えながら学習したいと思います。

午前・午後の部②「保健師の仕事を紹介します」

教授 播本 雅津子

保健師は地域で活動する看護職です。赤ちゃんから高齢者まで、生活者の健康を守る仕事をします。保健師の保健指導とは、交通安全指導のように基準となるルールや罰則があるわけではありません。保健師と出会った時間を自分の健康について立ち止まって考えるきっかけとなるよう仕掛けるのが保健指導です。模擬授業では保健師のコロナ対策や仕事の場面を具体的にご紹介し、保健師活動のイメージが高まるようにします。

社会福祉学科

「高校生にとっての『福祉の学び』」

教授 大坂 祐二

「あなたは高校で社会福祉について学ぶ機会がありましたか？」 名寄市立大学の社会福祉学科の学生にこの質問をすると、多くは「高校では社会福祉の勉強をしていない」と答えます。しかし、「社会福祉に関わること」であれば、実は普通科の高校でも勉強しているのです。この模擬授業では、高校での学びや高校生のくらしと社会福祉のつながりを考えるとともに、本学で取得できる教員免許「高校福祉」について説明します。

社会保育学科

「子どもが遊んで育つための保育者の役割」

准教授 棚橋 裕子

保育は子どもが主体的に遊ぶ体験を通して生きる力を育むことを基本としておりますが、遊んで子どもを育てるとは具体的にどのような営みでしょうか。保育者には、子どもと遊びの関係性を理解し先を見通す力が要求されます。遊びのもつ魅力を耕しながら、保育の意味や意義を一緒に探っていきましょう。